



## 思いがたくさん詰まった図書館

[12月6日(月)朝校長講話より]

12月6日(月)から、17日(金)まで、読書旬間です。今朝は、東小学校の3つの文庫についてのお話をします。

東小の図書館には、中條文庫・松林文庫・小出文庫があります。

### ①中條文庫

中條文庫とは、千曲市森出身の『アサヒビール(株)』名誉顧問だった、故中條高德様が、千曲市の全小中学校に、平成17年度から十数年にわたって、本を買うお金を寄贈してくださっていました。千曲市のどこの学校でも、大変ありがたく使わせていただきました。

### ②小出文庫

小出文庫は、中庭の小出庭園の小出さんと同じ方です。土口出身の小出一さんは、東京都杉並区で、会社経営をはじめました。「東洋電装株式会社」という、今では、とても大きな会社です。その会社は、主に自動車・オートバイ用各種スイッチ製品、エンジン部のパーツから発電機といったものまで取り扱っており研究開発、販売をおこなっているそうです。小出様は、昭和36年、当時の雨宮小学校へ本の寄贈をしてくださいました。子どものころ、読みたくても本がなく過ごしてきたことを思い、また、少年時代の読書の大切さを痛感し、故郷の子どもたちにぜひ良書を読んで、立派な人になってもらいたいと毎年、寄付を続けてくださいました。昭和43年に小出一様が亡くなると、今度は奥様と息子さんが、寄付をしてくださいました。翌44年東小学校に統合されても、毎年本を下さり、その金額は、370万円。4000冊にもなったそうです。その後、息子さんもお亡くなりになり、一時、寄付はありませんでしたが、次男の小出功様(92歳)東洋電装株式会社名誉会長から、平成27年1月に1000万円の図書費寄付の申し出をいただきました。お母様の意志を受け継いで、個人として寄蔵したいということでした。功様は、その年の8月にお亡くなりになりました。お金は、千曲市で管理していただき毎年、百万円ずつ図書費として使わせていただいています。



### ③松林文庫

松林寄孝様は、東小学校の初代PTA会長です。小出文庫の小出様に畏敬の念を持ち、「いつか、自分も母校のために役立ちたい」と思ってくださいましたということです。

校長室前の廊下に原本が掲示してありますが、改築記念に校歌碑を寄贈していただきました。さらに残りの600万円余りを毎年、10万円ずつ使わせていただいております。残念ながら、松林寄孝様は、昨年お亡くなりになりました。

東小学校では、毎年、図書委員さんが、皆さんを代表して小出様と松林様にお礼状をお届けしています。

東小の図書館は、地域の方のご厚意に支えられています。どこの学校の図書館より、たくさんのステキな新しい本があります。「ふるさと」や「母校」への思いがたくさん詰まった図書館です。本を大切に、たくさん利用して欲しいと思います。

先日、ある調査で、本を読んだ時と、パソコンの画面で同じ物語を読んだとき、本を読んだ人の方が、内容をよく覚えていたそうです。どうしてでしょう？皆さんも、そんな経験がありますか？この読書旬間には、ノーマディアデーもあります。タブレットは、文房具です。道具に頼りすぎないように、じっくり本に親しみましょう。

## 読み聞かせ

いろいろな方の読み聞かせの声を聞いてみると当然のことですが、読む人が違うと声や話し方が違います。じっくり読む方、テンポ良く読む高学年の児童、お話の世界も変わってくるので、その違いも楽しめてとても楽しいです。PTA親子文庫部の方(さら

に有志参加の方もいらっしゃいました)、図書委員の皆さんといろいろな方に読み聞かせをしていただきました。ありがとうございました。来週は、職員も読み聞かせを行います。本の世界を楽しみましょう。枠内↑の詩は、図書館の入り口付近の壁に貼ってあります。本との出会いを楽しんで欲しいです。

高い山へ行けなくても  
本の中なら 行ける  
外国へ行けなくても  
本の中なら 行ける  
宇宙へ行けなくても  
本の中なら 行ける  
大冒険ができなくても  
本の中なら ヒーローになれる  
じぶんの知らない世界を  
本の中で 知ることができる  
あなたが読んだ本の数だけ  
あなたの心が大きくゆたかになる



## マラソンタイム → なわとびタイム！

日中の気温も低くなってきました。校庭も雨で状態が悪い日が続いています。とはいえ、しっかり体は動かしていきたいです。6日(月)から「マラソンタイム」から「なわとびタイム」に切り替わりました。昨年と内容を変えて、長縄にチャレンジしています。8の字跳びをしています。高学年のスピードにギャラリーからの覗いていた2年生がびっくりしていました。寒くてもしっかり体を動かしていきたいですね。

(文責 三木雅博)